

検査室

検査室ではさまざまな検査を行っています。

血液や尿などで検査をする検体検査と、

患者様に直接触れて検査をする生理機能検査を行っています。

血液検査・尿検査



血球数を調べることで貧血が分かったり、血液データで炎症の程度を見たりと血液からは疾患の様々な情報を得ることができます。尿検査ではタンパクや糖が出ているかが分かたり、顕微鏡で細菌がいるかも見ることができます。

心電計& 血圧脈波計



心電図は心臓の動きを調べます。血圧脈波計は動脈硬化の程度を調べることができます。

心電図では、不整脈や心筋梗塞、心臓肥大の病気が分かります。

血圧脈波計では血管の硬さや血管のつまり、血圧のバランスなどを調べることができます。検査結果には「血管年齢」としても表示され、検査にかかる時間は5分程度です。動脈硬化は早期発見が大切です。動脈硬化が進むと脳出血、狭心症、心筋梗塞といった命に関わる疾患の原因となります。動脈硬化の早期発見のために、年1~2回の検査をお勧めしています。

超音波検査



超音波検査の機械です。
腹部、心臓、頸動脈などを、
人には聞こえない音（超音波）
によって、見るすることができます。

頸動脈では動脈硬化の程度を見ることができます。直接血管を見ることで詰まりがないか、狭窄がないか、血管壁の厚みなど計測しています。心臓は、直接動く様子を見ることができます。動きの悪い部分がないか、弁が正常に開閉しているかなど、直接見ることで多くのことが分かります。

そのほかにも、肺機能検査や眼底カメラなどの検査機器があります。

さまざまな検査を組み合わせで行ない、病気の早期発見、治療の効果など、多くのことを知ることができます。